

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 44 号 2021 年 8 月

九州支部ウェブサイト

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2021 年度 日本分析化学会九州支部
〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1
熊本大学大学院先端科学研究部
物質材料科学部門生体関連材料分野

支部活動報告

❖ 2021年度 第1回常任幹事会 ❖

2021年6月4日(金)、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ZoomでのWeb会議となりました。議事録は支部ウェブサイトに掲載しております。下記リンクよりご覧ください。

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/current/21minutes1.pdf

❖ 九州分析化学若手の会 第34回 若手研究講演会

および第39回 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会・日本分析化学会九州支部

期日：2021年7月23日(金)

会場：オンライン開催

内容：分析化学に関する若手研究者間の勉強会、講演

○招待講演1：満塩 勝先生

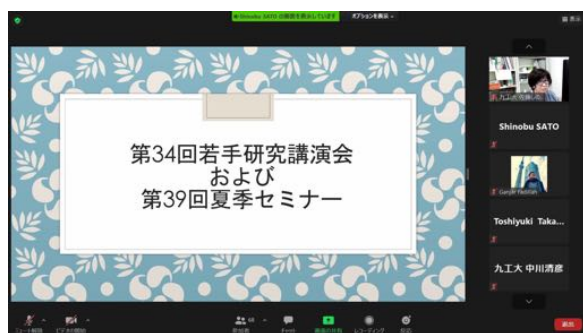
(鹿児島大学大学院 理工学研究科)

「化学センサー開発における研究室と企業の間壁」

○九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

○九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表
世話人：九州工業大学大学院工学研究院佐藤しのぶ

九州分析化学若手の会第34回若手研究講演会および第39回夏季セミナーは、コロナウイルスの流行状況を鑑み、安全に開催するため、上記の日程でオンライン開催としました。九州各地から合わせて122名(学生92名、教員・社会人30名)の参加者の参加がありました。



Zoom 開催の様子

本セミナーでは、九州分析化学奨励賞授与式および受賞講演、招待講演、九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表を行いました。

最初に、九州分析化学奨励賞授与式および授賞式を行いました。2020年度受賞者(1名)、2021年度受賞者(3名)の紹介を行い、授与式を行いました。授与式では、熊本大学 井原支部長に賞状を読み上げていただき、その後各受賞者の指導教官より直接賞状の授与を行っていただきました。その様子をオンラインで配信しました。その後、4名の九州分析化学奨励賞受賞者による受賞講演と質疑応答を行いました。4名の受賞者はいずれも質の高い研究を発表され、今後の九州での分析化学分野を担うであろうことを確信させる素晴らしい講演でした。

2020年度九州分析化学奨励賞受賞講演

○謝 金玲(九州大学大学院薬学府創薬育薬産学官連携分野)

「Simultaneous determination of lactate and 3-hydroxybutyrate enantiomers in mammalian physiological fluids using multi-dimensional HPLC」

2021年度九州分析化学奨励賞受賞講演

○川末 慎葉(福岡大学大学院薬学研究科)

「誘導体化 LC-MS 法によるタンパク質微小変化分析」

○嘉村 匠人(熊本大学大学院自然科学教育部)

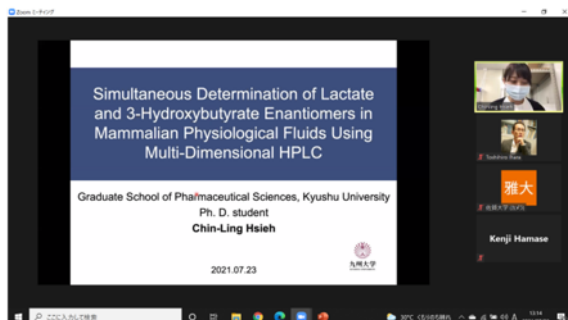
「RNA 高次構造の形成誘導を利用した細胞内短鎖 ncRNA 検出法の開発」

○河野 雅大(佐賀大学大学院工学系研究科)

「イオン液体と分子性液体の混合状態および相分離に関する研究」

続いて、招待講演を行いました。鹿児島大学の満塩 勝先生によるご講演で、「化学センサー開発における研究室と企業の間壁」というタイトルでご講演頂きました。産学連携における研究室での研究と企業の要求する結果など、実際に産学連携を行っている先生ならではの視点からの講演であり、研究室で研究を進める学生および若手研究者にとって、有用な講演を行っていただきました。

その後、第58回化学関連支部合同九州大会での九州分析化学ポスター賞受賞者による模範ポスター



謝 金玲さん発表の様子



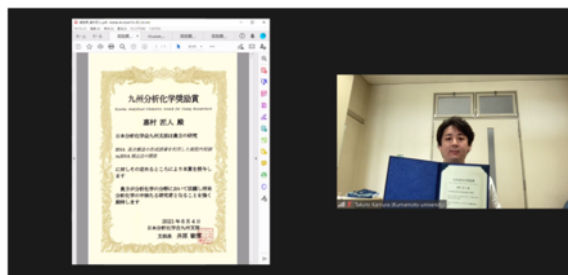
満塩勝先生による招待講演の様子



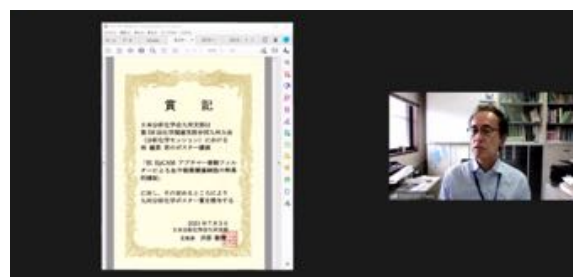
川末 慎葉さん発表の様子



河野 雅大さん授与式の様子



嘉村 匠人さん授与式の様子



井原支部長による表彰

発表（5件）を実施しました。第58回化学関連支部合同九州大会でのポスター発表もまた、オンライン形式で行われたため、同様の形式での発表を行っていただいたが、いずれの発表もオンライン発表の手本となるような質の高さでした。

九州分析化学ポスター賞模範ポスター発表

○林 榛菜（熊本大院先端）

「抗 EpCAM アプタマー修飾フィルターによる血中循環腫瘍細胞の特異的捕捉」

○嘉陽 奈々（九大院工）

「吸着等温測定による電極触媒への高分子電解質吸着挙動の解明」

○江口 奈央（九工大院工）

「電気化学的テロメラーゼ検出法への新しいフェロセン化ナフタレンジイミドの応用」

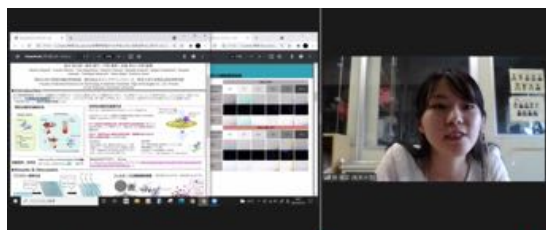
○立石 宙也（九大院工）

「細胞上の複数種タンパク質の同時多色蛍光検出を可能にする酵素増感法」

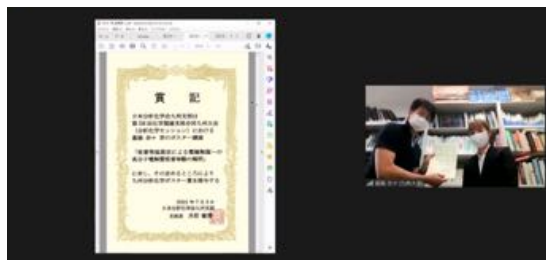
○佐々木 隆（佐賀大院先進）

「アルコール-水混合溶液中における Lysozyme および β -Lactoglobulin の構造変化」

のご参加をお願いいたします。【九州工業大学大学院
物質工学研究系・佐藤しのぶ】



林 榛菜さん



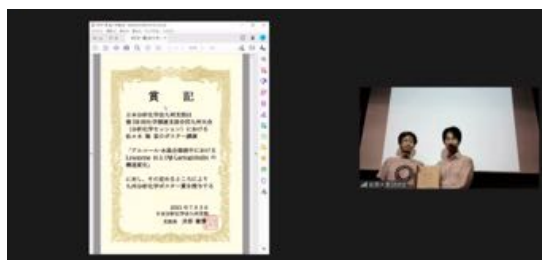
嘉陽 奈々さん



江口 奈央さん



立石 宙也さん



佐々木 隆さん

最後に、次回の夏季セミナーの世話人である宗
伸明先生（佐賀大学）より、次回夏季セミナー（ホ
テル&リゾート佐賀唐津、佐賀県唐津市）の案内が
行われました。次年度は状況が不透明であり、オン
ライン開催の可能性もありますが、できれば対面で
交流できることを期待しています。来年も多くの方



宗先生より次年度の告知

❖ 2021 年度 九州分析化学会賞 ❖

選考委員会による審査の結果、福岡大学薬学部
能田 均 教授が 2021 年度九州分析化学会賞の受賞
者に決定いたしました。受賞題目は「高選択的な蛍
光誘導体化法の開発とその分析化学的利用」です。
おめでとうございます。

能田先生には今後とも、九州支部の発展のために
お力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

❖ 2021 年度 九州分析化学奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2021 年度九州分析
化学奨励賞の受賞者は以下の 3 名に決定いたしまし
た。おめでとうございます。受賞者の方には今後の
発展と共に、分析化学会および支部活動への貢献を
期待いたします。また、次年度も会員の皆様からの
本奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

受賞者・受賞題目

- 川末 慎葉 さん（福岡大学大学院薬学研究科）
「誘導体化 LC-MS 法によるタンパク質微小変化
分析」
- 嘉村 匠人 さん（熊本大学大学院自然科学教育部）
「RNA 高次構造の形成誘導を利用した細胞内短鎖
ncRNA 検出法の開発」
- 河野 雅大 さん（佐賀大学大学院工学系研究科）
「イオン液体と分子性液体の混合状態および相分離
に関する研究」

❖ 第 58 回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：（公社）日本分析化学会九州支部ほか 7 化学関連支部
期日：2021 年 7 月 3 日（土）
会場：オンライン開催

分析化学関係の依頼講演

・末田 慎二 先生（九州工業大学情報工学部）
「酵素反応を基軸としたタンパク質分析に資する蛍光ラベル化技術の開発」

プログラム：

ポスターセッション（分析化学分野 13:40～15:10）
AC-5-001～AC-5-037）まで計 37 件

他のセッション等については、大会ホームページ
（<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>）をご覧ください。

2021 年度九州分析化学ポスター賞の受賞者は、
審査の結果以下の 5 名に決定いたしました。おめ
でとうございます。受賞者の皆さまには今後の更なる
発展を期待いたします。

・林 榛菜（熊本大学大学院自然科学教育部）
「抗 EpCAM アプタマー修飾フィルターによる血中
循環腫瘍細胞の特異的捕捉」

・嘉陽 奈々（九州大学大学院工学府）
「吸着等温測定による電極触媒への高分子電解質吸
着挙動の解明」

・江口 奈央（九州工業大学大学院工学府）
「電気化学的テロメラーゼ検出法への新しいフェロ
セン化ナフタレンジイミドの応用」

・立石 宙也（九州大学大学院システム生命科学府）
「細胞上の複数種タンパク質の同時多色蛍光検出を
可能にする酵素増感法」

・佐々木 隆（佐賀大学大学院先進健康科学研究科）
「アルコール-水混合溶液中における Lysozyme お
よび β -Lactoglobulin の構造変化」

❖ 第 61 回 分析化学講習会 ❖

2021 年度の第 61 回分析化学講習会の開催に関し
まして、実行委員からの意見を集約した結果、年度
中の開催は極めて難しいという結論に至りました。
2 年連続の開催中止という非常に残念な事態とな
りましたが、諸般の事情（変異型コロナウイルスの増
加と感染第 4 波の懸念、ワクチン接種の遅延、人材
派遣等の難しさ、三密を避けられる会場の確保、参
加者の規模の維持等）により中止することを決定致
しました。

ご参加予定の皆様ならびに関係者各位におかれ
ましては、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承下
さいますようお願い申し上げます。

行事案内

❖ 日本分析化学会第 70 年会 ❖

期日：2021 年 9 月 22 日（水）～ 24 日（金）

会場：オンラインにて開催されます。

開催日程：

9 月 22 日（水）：

一般講演（口頭、ポスター）、若手講演（ポスター）、
テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、受賞講演、
研究懇談会講演、企業セミナー（ランチタイムオン
ラインセミナー）、付設展示会（オンライン版）

9 月 23 日（木）：

一般講演（口頭、ポスター）、若手講演（ポスター）、
テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、受賞講演、
研究懇談会講演、学会賞等授賞式、学会賞受賞講演、
企業セミナー（ランチタイムオンラインセミナー）、
付設展示会（オンライン版）

9 月 24 日（金）：

一般講演（口頭、ポスター）、若手講演（ポスター）、
テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、受賞講演、
研究懇談会講演、企業セミナー（ランチタイムオン
ラインセミナー）、付設展示会（オンライン版）

【産業界 R&D 紹介講演（ポスター）】

主催：（公社）日本分析化学会・「産業界における研
究開発と分析ソリューション」シンポジウム企画運
営委員会

趣旨：産業界の分析部門間及び産学官の交流・情報
収集・研究議論・技術発信/アピール・若手育成と、
学生に向けた企業活動説明を目的とします。

期日：9 月 23 日（木）の午後を予定。

会場：Web を利用したオンライン開催

【ものづくり技術交流会 2021 in 関西 ～分析に 役立つ基礎技術～】

日時：9 月 21 日（火）

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://bunseki-innovation.net/mono2021kansai/>

主催：分析イノベーション交流会

<http://bunseki-innovation.net/>

❖ 支部講演会・見学会 ❖

2021年度は、支部講演会・幹事会を11月1日(月)に熊本大学黒髪キャンパスにて開催予定です。

講演会では、佐賀大理工学部 高椋利幸 先生、福岡大薬学部 能田均 先生による2020/2021年度九州分析化学会賞受賞講演を行う予定です。

コロナ感染の状況次第では、直前にオンライン開催に変更する可能性がございますのであらかじめご了承ください。なお、見学会と情報交換会はコロナ感染のリスク軽減の観点から今回は実施致しません。

事務局より

❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGE によるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci.誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci.誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci.誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

❖ 入会を歓迎します ❖

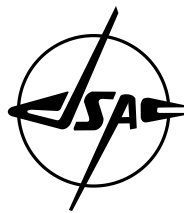
あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会をご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からご提供いただけるそうです。日本分析化

❖ 編集後記 ❖

本年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な学会や催しが中止とならざるを得ない状況が続いております。一時は改善しつつある様に見えた感染状況ですが、デルタ株の猛威による第5波の影響は甚大で、なかなか元通りとは行かない状況をととてももどかしく思います。今後、ワクチン接種が進み、感染状況が抑えられることを祈りながら、九州支部においても、支部講演会・幹事会は11月に現地での開催を前提に準備を進めております。是非とも、支部活動に対しての皆様のご協力をお願い申し上げます。猛暑に加え大雨などの自然災害も懸念されますが、どうぞ皆様におかれましてはご自愛くださいますようお願い申し上げます。

本年も支部ニュースは年2回の発刊を予定しております。次の45号は2022年2月頃に電子版で配信致します。支部ニュースへのご意見、掲載されたい記事等がございましたらお気軽にご連絡ください。

【副支部長・田中】



2021 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1

熊本大学大学院先端科学研究部

物質材料科学部門生体関連材料分野

- 支部長 井原 敏博（熊本大学大学院先端科学研究部）
toshi@chem.kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3873
- 副支部長 田中 充（九州大学 五感応用デバイス研究開発センター）
mitsurut@agr.kyushu-u.ac.jp / 092-802-4753
- 副支部長 高橋 正孝（(株) 同仁化学研究所）
m.takahashi@dojindo.co.jp / 096-286-1515
- 庶務幹事 水城 圭司（崇城大学工学部ナノサイエンス学科）
mizuki@nano.sojo-u.ac.jp / 096-326-3626
- 会計幹事 北村 裕介（熊本大学大学院先端科学研究部）
ykita@kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3872